

第 51 卷 PDF 読本



都庁前駅

両国駅



都営地下鉄

2025年1月22日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 都営浅草線（西駒込～押上：営業キロ 18.3 km）・・・6

第2章 都営三田線（目黒～西高島平：26.5 km）・・・・・・20

第3章 都営新宿線（新宿～本八幡：23.5 km）・・・・・・29

第4章 都営大江戸線（都庁前～光が丘：40.7 km）・・・・・・38

第5章 都営大江戸線（わいわい会編）・・・・・・72

路線	線路幅	例示	区間	営業キロ
都営浅草線	143.5cm	新幹線タイプ	西馬込～押上	18.3
都営三田線	106.7cm	JR 在来線タイプ	目黒～西高島平	26.5
都営新宿線	137.2cm	京王電鉄タイプ	新宿～本八幡	23.5
都営大江戸線	143.5cm	新幹線タイプ	都庁前～清澄白河～都庁前	28.6
			都庁前～光が丘	12.1

※線路幅は色々

総営業キロ 109.0 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 46 弾目として、東海道本線・総武本線・相模線などに接続する、東京都・千葉県を走る、都営地下鉄の旅（総営業キロ 109.0 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 61 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2001 年 1 月～2023 年 5 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真を取りながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご覧頂けます。

第 51 編（日本横断歩き鉄の旅）

都営浅草線・都営三田線
都営新宿線・大江戸線



大江戸線
都庁前駅

2023年5月5日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 都営浅草線（押上～西馬込）

第1節 浅草橋～西馬込

浅草橋(10:50)～東日本橋(11:06)～人形町(11:22)～日本橋(11:39)～室町(11:53)～東銀座(12:26)～新橋(12:49)～大門(13:06)～三田(13:29)～泉岳寺(13:46)～高輪台(14:23)～五反田(14:36)～戸越(15:01)～中延(15:18)～馬込(15:30)～西馬込(16:14)

平成21年11月23日(月)、3連休の最後、小春日和となる。土曜は長男夫婦に少し早い60歳の誕生祝いを、大和の木曾路で家内共々御馳走になる。そういうことで、連休の最終日となる。昨日、長男家族が帰ったので場所は未定であるが、どこかウォーキングしようと急遽思いつく。10月10日以来、6週間振りの歩きとなる。朝6時に起床し、天気予報を確認する。9時頃から晴れるとの予報であった。愛犬セブンを7時から散歩させる。散歩させながら、どこを歩くか考える。都営浅草線にするか京成線にするか考える。総合的に判断した結果、都営浅草線に決める。しかし、9時自宅を出る際に始発を押上にするか浅草橋にするか依然決まらず。



木曾路

中央林間まで歩きながら考える。結局、押上＝浅草橋間は前に踏破したことがあるので割愛することにする。中央林間9時40分台の電車で新宿経由にて浅草橋に向かう。運良く新百合丘駅から座れる。第九巻のウォーキング記を校正しながら、移動する。浅草橋駅には10時50分到着。



浅草橋駅 浅草橋

浅草橋駅への訪問は平成 17 年 4 月以来である。非常に懐かしく感じる。駅前には浅草見附跡や浅草橋（万歩計で 59 歩）があった。浅草橋下には数艘の小舟が泊められていた。本日は地下鉄沿線歩きのため、東京都市図を片手に歩く。靖国通りで出たところで、東日本橋駅方面を地図で確認して進む。馬喰町駅方面に誤って行きそうになったからである。



東日本橋駅 人形町駅

本日最初の東日本橋駅には 11 時 6 分に到着する。久松町で大きく右折する。11 時 16 分、高校の後輩がかつて勤務していた久松警察署前を通過。11 時 22 分、人形町駅に到着。11 時 31 分、昭和通りに入る。高速道路下を潜り、101 歩ある江戸橋を渡る。ここでも橋下の川には小舟が数艘あった。11 時 39 分、日本橋駅に到着。東京駅への道路である永代通りを横切る。昭和通りと永代通りの交差点は江戸橋一丁目とあった。



日本橋駅 宝町駅

11時53分、宝町駅に到着。右には東京駅があった。ここでCDウォークマンが電池切れとなる。宝町3丁目辺りにある「やよい軒」で12時昼食を摂る。定食メニューで一番高いすきやき定食(890円)を注文する。この店は定食屋専門店のため豊富なメニューが多々あった。ランチタイムも重なり、沢山の客が代わる代わる入れ替わっていた。美味しい定食であった。20分間位休息する。



この店を出ると、歌舞伎座がある東銀座駅(12時26分)だった。12時49分、新橋駅に到着。都営新橋駅があったが、カメラに収めるには暗く暫くうろうろするが、結局見つからず暗い場面の新橋駅を撮影する。新橋駅から大門駅は、高校同窓の幹事会出席のためこの間は何回も歩いたのでスムーズに進む。



大門駅には13時6分に到着する。隣には数回お世話になった「さぬきうどん(金比羅)」があった。13時14分、万歩計で35歩ある古川を横切る。この川には屋形船が泊められていた。本年2月に東海道本線の仕上げで通り抜けた三田駅(13時29分)や泉岳寺駅(13時46分)を通る。



三田駅 泉岳寺駅



高輪台駅 五反田駅

泉岳寺駅から高輪台駅までの道のりに少し苦勞する。一本早く曲がったので行き止まりとなり引き返す事態となる。すなわち、国道 15 号線（第一京浜）から国道 1 号線（桜田通り）に出るのに苦勞する。しかし、道は若干細いが桂坂（14 時 6 分）がある道路があった。この道路の突き当たりに国道 1 号線に面して明治学院大学（14 時 10 分）があった。国道 1 号線に沿って、高輪台から終点の西馬込までの各駅があった。高輪台駅には 14 時 23 分、五反田駅には 14 時 36 分に到着する。高輪台駅辺りで暑くなり、上着を脱ぐ。

万歩計で 39 歩ある五反田大橋（目黒川）を渡る。途中、荏原方面に進む道の分岐点がある。地図を確認し、横浜方面が記載された道路に進む。上り坂が続く。15 時 1 分、戸越駅（とごし）に到着する。駅に手前にはアケードのある商店街があった。15 時 14 分、前方道路上を東急大井町線が横切る。15 時 18 分、中延駅（なかのぶ）に到着。



戸越駅



中延駅

大井町線も近くにあった。帰りはここまで歩いて戻り、この駅から田園都市線に乗り継いで帰ろうと思いつく。15時30分、馬込駅に到着。この駅は改築工事中であった。この駅で鏑木さんとばったり会う。用事があり自宅に帰宅途中とのことであった。鏑木さんに「Coffe'1953 NIRE」で御馳走になる。25分位世間話をする。道路を横切る松原橋（55歩）には15時58分到着。



馬込駅



16時1分、頭上には東海道新幹線、道路下には横須賀線を横切る。16時6分、馬込坂に到着。まもなく太陽は沈みそうであった。西馬込駅には16時14分に到着。この近郊は数年前横須賀線踏破の際に来たような微かな記憶が蘇る。再度、2km先の中延駅まで歩く。中延駅には16時44分到着。ここから、大井町線、田園都市線を乗り継いで中央林間まで帰る。中央林間から自宅まで歩いて帰る。自宅には18時20分到着。本日の営業キロは14.9km、万歩計は32,743歩だった。久しぶりに歩いたので疲れた。充実した一日であった。



西馬込駅 東急中延駅

第2節 押上～浅草橋

2023年1月20日（金）晴れ、東海大学病院の人間ドックフォロー後、時間を有効活用することから、総武線や京成押上線などを乗り継いで、青砥駅まで移動し、京成押上線（青砥～押上：営業キロ5.7km）と都営浅草線（押上～浅草橋：3.1km）のつたい歩きに急遽思いつき再挑戦する。これらの路線は2001年1月13日（土）に踏破済み（北国分～浅草橋：14.7km）であるが、駅舎写真や到着時刻に不備があるのが判明したので本日の歩きとなった。また、フコク生命時代、南林間～新宿～浅草橋～千葉ニュータウンと2001年1月～2005年3月まで長距離通勤した関係で懐かしい路線でもあった。しかし、本日歩きを通じ22年前の記憶は殆ど忘却していた。本日は後述の通り大周りとなったが、浅草駅に到着し、所吾妻橋駅は隅田川を挟んで浅草側ではなく押上側にあることを唯一思い出した。京成電鉄、新京成電鉄、北総鉄道の路線は、”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本の第47編で執筆を予定しており、本日午後の時間をうまく活用し、その一部の整理ができホッとする一日となった。



※浅草橋駅



※乗り鉄で浅草橋駅と本所吾妻橋駅を撮影

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

青砥 (13:00) ~ 京成立石 (13:20) ~ 四ツ木 (13:43) ~ 八広 (14:16) ~ 京成曳舟 (14:37)
 ~ 押上 (15:08) ~ 浅草 (15:44) ~ 本所吾妻橋 (15:58) ~ 浅草 (16:12) ~ 蔵前 (16:32) ~ 浅草
 橋 (16:40)

① ~ ②は 京成押上線のため割愛

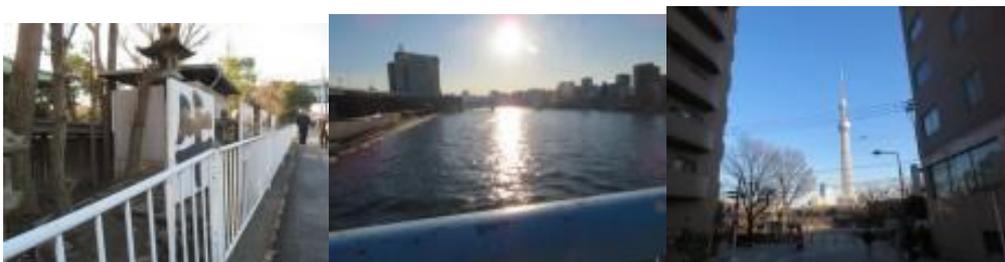


※押上駅

③22年前の記憶がすっかり忘却していたため、またメモ帳を確認しなかったため、押上駅と浅草駅の間に本所吾妻橋駅の存在を無視して歩く。すなわち、2022年11月2日（水）東武線を歩いたとうきょうスカイツリー駅と言問橋経由のルートを進む。御馴染みの牛島神社が15時30分あった。その先に万歩計で281歩ある言問橋（隅田川）を渡る、江戸通り（6号線）を左折し暫く歩いた先に浅草駅（15時44分）があった。ここでメモ帳記載の際、本所吾妻駅の未踏破に気づく。



※スカイツリー、とうきょうスカイツリー駅界限、三つ目通り



※牛島神社、言問橋からの隅田川、スカイツリーがビルの谷間から



※浅草駅

④ここで22年前の記憶が蘇る。運よく最寄りの地図があったので、本所吾妻駅のクリアに向かう。運よく、交番があったので「本所吾妻橋駅への道筋」を確認する。263歩ある駒形橋を往復する。この橋から隅田川を挟んでスカイツリーと見覚えのあるアサヒビール本社の建物がある絶好の風景が見えてくる。本所吾妻橋駅には15時58分到着。隅田川に沿った言問橋手前の三つ目通り沿いにあった。20分位大回りとなったが、このような風景を堪能でき最高であった。



※絶好の風景（沢山の観光客がスマホなど撮影）、本所吾妻橋駅



※東京スカイツリーとユニークなアサヒビール本社を背後にして



※駒形橋、再度浅草駅

⑥再度、浅草駅（16時12分）を經由し、蔵前駅を目指す。江戸通りと春日通りの交差点である厩（うまや）橋を16時20分通過。その先に蔵前駅（16時26分）があった。その先の蔵前通りには”ライオン”のビルがあった。江戸通りを淡々と歩いた先に終着駅の浅草橋駅（16時40分）があった。本日の歩きで、通算営業キロは**1万4千133 km**（活動日数696日、日本の鉄道の51.0%、地球円周の35.3%）となる。



※蔵前駅



※蔵前通りにある”ライオン”（高校同期会の会合名と同一）、浅草橋駅



※浅草橋駅

⑦総武線と小田急線を乗り継いで家路に。その前に中央林間駅界隈の大阪王将で本日の疲れを癒す。充実した一日であった。



※JR 浅草駅で、大阪王将で祝杯！！

(^^♪・・・・(^^♪・・・・

ご参考までに 22 年前の旅日記（北国分～浅草橋）をご紹介します。

2 回目は、1 週間後の 1 月 13 日（土）となった。北国分に 10 時半頃行き、小高い丘を越え細川たかし氏のヒット曲となった「矢切の渡し」を目指した。

途中「野菊の墓」で有名な伊藤左千夫の文学碑があった。当然記念写真を見知らぬ人に撮ってもらった後、「矢切の渡し」場を見に行くこととした。ここでも文学作品の題材となるエピソード（政夫＝民子）があるらしい。残念ながら先を急いでいたため渡し舟には乗らなかった。松戸パブリックコースもある矢切の土手を江戸川に沿って 1 Km 上り、200m 位の新葛飾橋を渡り新柴又側に出る。柴又と言えば「ふうてんの寅さん」で有名な帝釈天があるが、ここも残念ながら見なかった。ひたすら京成金町線を下り高砂

に向う。高砂、青戸は江戸川と中川に挟まれて窮屈な感のする町のように見えた。食事は当社の単身寮がある青戸の駅前の大門で野菜炒め定食をとった。青戸には千歳船橋にあったのと同じ名称の雀荘「社長室」があった。昼食後は水戸街道を通り、立石、四つ木を目指す。四つ木を過ぎると荒川が八広との間にあり、またしてもウォーキングに神経をつかわされた。

曳舟は数年前会社の先輩親族の通夜にきたことがあるので、駅前には本の少しの記憶が残っていた。押上では、本来右に曲がるべきところ、誤って左に曲がり浅草と反対の亀戸に向うというアクシデントに見舞われた。誤りは文花の地名辺りで気がついた。水上バス発着所の近くの吾妻橋を通り浅草に向う。隅田川を渡ろうとした時、遊覧船がこの橋の下を勢いよく駆け抜けて行く。リカバリーショットに意外に時間を費やしたが、5時頃浅草寺に行き今年一年の家族の健康を祈願した。そこで、大好物の揚げ餅を食べた。その後、隅田川に沿って蔵前を通り 17 時半頃浅草橋にゴールした。駅前にヤンキースのマークの帽子が目に入ったので、北総線走破の記念として買った。浅草橋駅までの営業距離は 14.7Km と少なかったが、川を 4 箇所通り迂回があったので実質 20Km 位は歩いた。自宅での万歩計は 34,875 歩だった。



第3節 乗り鉄リベンジ（押上～西馬込）

<千葉モノレール・京成電鉄・都営浅草線>

2023年1月21日（土）晴れ、昨日に引き続き、京成電鉄（PDF 読本第47編）に加え、千葉モノレール（第50編）や都営浅草線（第51編）の整理を、次の通り自宅から一筆書きのルートを辿りながら、“歩き鉄”と“乗り鉄”の2面からリベンジする。

自宅～中央林間～（小田急）～新宿～（JR 総武線）～千葉～（千葉都市モノレール）～京成千葉～（京成電鉄）～（都営浅草線）～中延(17:49)～（東急）～中央林間～自宅(19:27)

<歩き鉄> 京成本線のため割愛

<乗り鉄>

一駅舎 2 画像がない駅を乗り鉄でフォローする。

○千葉都市モノレール・京成電鉄は割愛

○都営浅草線



※泉岳寺駅(17:17)、西馬込駅(17:36)



※中延駅(17:49)